

「第 35 回国際電波科学連合総会」開会式
秋篠宮皇嗣殿下お言葉（和文仮訳）

2023 年 8 月 20 日

第 35 回国際電波科学連合総会が「持続可能な社会を目指す電波科学が拓く未来」のメインテーマのもと、ここ札幌で開催され、国内外の多くの皆様とともに開会式に出席できますことを大変嬉しく思います。

この会議の母体である国際電波科学連合（URSI）は、世界で最も古い国際学術団体の一つで、1919 年の設立以来 100 年以上にわたり、電波科学分野における調査、基礎研究と応用研究、科学的な交流などを国際的に推進してこられました。

電波科学は、基礎科学から応用工学に至るとともに、様々な分野が関わる極めて学際的なものであると承知しております。それぞれの分野において、異なる視点から多様な研究を進めていくには、URSI のような国際協力が不可欠であると考えます。

これまで URSI の運営に携わり、電波科学の発展を築き支えてこられた方々に、深甚なる敬意を表します。

電波科学の発展は、今日の高度情報通信社会と私たちの日々の暮らしを支えています。携帯電話、テレビ、衛星ナビゲーションなどの無線通信システムによって、世界中の人々が「いつでも、どこでも、誰とでも」繋がることができるようになっています。また、電波のエネルギー利用によって、電子レンジ、無線充電、MRI などが普及しました。これらは、私たちの現代の日常生活に必要不可欠なものになっています。

さらに、電波による遠隔探査で地球環境を観察することによって、自然災害の予測や検知、被害状況の把握をすることが可能になりました。災害時には、無線通信によって緊急通信網が確保され、避難支援や安否確認に役立っています。そして、電波の観測による宇宙天気予報や、遠方にある天体の調査も行われるようになっています。

このように、電波科学を活用した様々な取り組みが、持続可能な開発目標（SDG s）の達成にも大きく貢献しているものと承知しております。この会議を通じて、電波科学についての様々な情報交換が行われるとともに、世界に最先端の研究成果が発信され、より一層の発展を遂げていくことを期待しております。

終わりに、電波科学が持続可能な社会を創出し、未来を拓いていくことに寄与することを期待するとともに、この会議と皆様のご滞在が実り多く、有意義で心優しいものとなることを祈念し、開会式に寄せる言葉といたします。